

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2011年7月31日	2011年7月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

A、一般的傾向

今月は、商店や企業を狙った空き巣・盗難、小規模商店および個人を狙った強盗・暴力窃盗事件、次いで飲酒/無免許運転が多く報告されています。特に引ったくり、偽の職員を装った盗難、自宅への押入り強盗が見られました。

[補足文書1]

B、地区別 治安情報集計結果

地区別に見ると、リヨン東地区の Villeurbanne や Saint-Priest、リヨン北地区、次いでリヨン3区で多く見られました。

2011年7月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アノ県	イゼール県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件			1														1
すり			1														1
空き巣・盗難	1		2	1						6	2	1	3	2			18
置き引き																	0
引ったくり			1			1											2
万引き										2							2
強盗・暴力窃盗		3	2							6	1		1				13
窃盗(車・自転車)							2	1	1		1						5
カー/ホームジャック																	0
車内盗難							1					1	1				3
猥褻行為・強姦		1															1
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1		1	1						1		1	1				6
詐欺(カードなど)																	0
拉致、誘拐	1														1		2
破損・放火						1		1		4			1				7
ストーカー																	0
麻薬取引・所持										1			1				2
飲酒/無免許運転			1	1			2			2		1	2				9
夫婦間暴力							1										1
軽犯罪																	0
合計	3	4	9	3	0	2	6	2	1	22	4	4	10	2	1	0	73

備考欄： リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison

リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C. 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

商店での空き巣や万引き、引ったくりが目立ちました。偽のボランティアや水道局職員、警察官の手口を使ってお年寄りを狙った盗難も 2 件報告されています。また、ネット上で物を売ろうとした人が、品物を見に来た買い手にこれを奪い取られるという事件も見られました。このような場合はできるだけ 1 人で会わず、家族や知り合いなどに立会いを求めるようにしましょう。

ほんのわずかな時間でも家を留守にする場合は、ドアを引いて閉めるだけでなく、錠を回してから出かけましょう。それだけでも、不法侵入者がドアをこじ開けるのに必要な時間が長くなります。また、夏の長期休暇時は普段以上に空き巣の被害に遭う可能性が高くなります。留守かどうかを確かめる電話がかかってくる、犯人が家の下見をするような場合があります。「これから数週間留守にする」ことをできるだけ知られないよう注意しましょう。留守の間に、信頼できるお隣さんや近所の人に定期的に様子を見てもらうのも対策のひとつです。

① 強盗・脅し窃盗

- 7 月 1 日夕方 6 時 20 分頃、リヨン 3 区の旅行代理店に武器を持った覆面の 2 人組が押し入り、2 人の店員を脅して金庫を開けさせようとした。金庫が空だったため、今度はレジの売上金を要求したが、15 ユーロほどしか入っておらず、犯人らは不服で現金を床に投げつけると、店員に催涙ガスをかけてから逃走した。（プログレ紙 7 月 3 日）
- ネット上でスクーターを売ろうとした男性が、7 月 1 日に Villerubanne の自宅にスクーターを見に来た購入希望者にピストルで脅され、スクーターを奪われた。数分後に Vaulx-en-Velin で警察がヘルメットをかぶらずスクーターに乗っていた 2 人の若者を取り締まろうとした。Villeurbanne で盗まれたものと一致していた。2 人は逃走したが、その後 1 人が捕まった。（プログレ紙 7 月 5 日）
- 7 月 5 日午前 9 時過ぎ、パール・デュー ショッピングセンターにある開店前の宝石店にピストルを持った 2 人組の強盗が押し入り、1 人が店員 2 人を脅してショーケースを開けるよう要求。時計や特にゴールドの宝石類を奪うとオートバイで逃げた。被害額はかなり大きい見込み。（プログレ紙 7 月 6 日）
- 7 月 9 日午後 2 時前頃、Limonest にあるチェーン店の靴屋で強盗。催涙ガスを持った 2 人組の男が売上金と金庫の金を脅し取って二輪車で逃走した。（プログレ紙 7 月 10 日）
- 7 月 11 日午後 6 時 40 分頃、Saint-Priest のタバコ屋に覆面の 2 人組が押し入り、武器で脅すとレジの現金を奪って逃げた。（プログレ紙 7 月 12 日）
- 7 月 12 日午前 6 時 45 分頃、Saint-Priest のガソリンスタンドに武器を持った 4 人組が押し入り、レジの現金を脅し取って逃げた。（プログレ紙 7 月 13 日）
- 7 月 24 日午後 7 時頃、Albigny-sur-Saône で、88 歳のお年寄りの自宅に 3 人組の強盗が押し入り、1 人が被害者に催涙ガスをかけて倒れた老人の手首をテープで縛っている間に共犯らが家の中を捜索。現金 200 ユーロと銀行カードを盗み、老人からカードの暗証番号を聞き出すとそのまま逃走した。（プログレ紙 7 月 26 日）

② 空き巣、盗難

- 6 月 30 日、リヨン 3 区で、お年寄りの女性がボランティアを装った 2 人組による盗難の被害に遭った。2 人組は老人援助団体のメンバーと偽って被害者の自宅を訪ね、1 人が、住居が生活に適しているか調べたいと言う理由で被害者を浴室に誘った。2 人組が去った後、被害者は約 5 万ユーロ相当の宝石類が無くなっているのに気が付いた。（プログレ紙 7 月 2 日）
- 7 月 2 日午前 3 時頃、Feyzin で車内盗難をはたらいていた 3 人組が現行犯でパトロール隊員に逮捕された。（7 月 3 日）
- 7 月 3 日午前 3 時 20 分頃、リヨン 1 区で、スクーターを盗もうとしていた 4 人組が現行犯で逮捕された。（プログレ紙 7 月 4 日）
- 7 月 5 日深夜、Rillieux-la-Pape で、路上駐車の数台の窓ガラスとサイドミラーが壊され、中にあったカーナビなどが盗まれた。（プログレ紙 7 月 7 日）

- 7月9日午前9時半頃、リヨン6区で、80歳のお年寄り女性が13歳から16歳の少女3人組に襲われ、ハンドバッグを奪われそうになったが、抵抗したため3人組は逃走。その後警察に捕まった。(プログレ紙7月11日)
- 7月11日午後3時半頃、リヨン3区で、売上金を銀行にもって行く途中の肉屋経営者が2人組に1000ユーロ相当の現金の入ったかばんをひったくられた。2人組は逃走。(プログレ紙7月13日)
- 7月11日午後3時半頃、Pierre-Béniteで、12歳の少年が逮捕された。少年が乗っていた車はこの週末にリヨン9区で起きた空き巣事件で盗まれた車2台のうちの1台だった。(プログレ紙7月13日)
- 7月13日午後7時半頃、BronにあるスーパーCasinoで3人組がアルコールボトルを万引きしているところを現行犯で逮捕された。(プログレ紙7月15日)
- 7月14日午前1時頃、リヨン7区で、26歳の男が自転車を盗んだばかりのところを警察に逮捕された。(プログレ紙7月15日)
- 7月12日深夜、Villeurbanneのオートバイ販売・修理専門店が空き巣の被害に遭った。犯人らは屋根の窓を壊して中に侵入したもよう。大型のオートバイ3台が盗まれた。(プログレ紙7月16日)
- 7月19日午後1時前頃、Caluireで89歳のお年寄りが自宅で偽の水道局職員と警察官の手口による盗難の被害に遭い、財布が盗まれた。(プログレ紙7月21日)
- 7月18日深夜、Chassieuのレストランに空き巣が侵入。犯人らは警報装置を解除することに成功し、売上金が入った金庫を盗んだ。(プログレ紙7月21日)
- 7月21日、24歳と35歳の男2人が検事局に召喚された。2人は7月19日午後5時頃、Vénissieuxのショッピングセンターで宝石類を盗んだところを現行犯で逮捕された。(プログレ紙7月22日)

③ 暴力・窃盗事件

- 6月30日午後1時20分頃、Villeurbanneで、16歳の少年が警察に逮捕された。少年はその直前に、レストランで19歳の男性からiPhoneを奪ったばかりだった。(プログレ紙7月2日)
- 7月4日、Bronにあるショッピングセンターの駐車場で、買い物袋を車に積んでいた50歳の女性がいきなり見知らぬ男に押され、ハンドバッグを盗まれた。犯人はそのまま逃走。(プログレ紙7月6日)
- 7月11日午前4時前頃、リヨン2区で、19歳と29歳のホームレスが29歳の男性に対し暴力、窃盗、猥褻行為をはたらいたばかりのところを逮捕された。(プログレ紙7月13日)
- 7月16日午後7時頃、Villeurbanneで、通行人の女性が若い男に携帯電話をひったくられたが、男は間もなく警察に捕まった。(プログレ紙7月18日)
- 7月19日夕方7時半頃、リヨン2区のBellecour広場近くで19歳の女が警察に逮捕された。女は19歳の女性に暴力を振るい、もう1人の19歳の女性からはバッグを奪った疑い。(プログレ紙7月21日)

④ 脅し・暴力

- 7月4日午前1時40分頃、リヨン3区のローヌ河岸近くで、25歳と26歳のカップルが2人組の若者に殴られ、男性は2人組が連れていた犬に腕と耳を噛まれた。犯人らは間もなく警察に逮捕された。(プログレ紙7月5日)
- 7月8日夜、リヨン4区で、50歳の男性が、うるさい音を出しているという理由で隣の住民を刻み包丁で襲い、手に怪我をさせた。犯行時男性は酔っ払っていたようで、夜10時頃警察に逮捕された。(プログレ紙7月10日)
- 7月18日午後11時50分頃、Saint-Priestで、酔っ払った31歳の男が逮捕された。男は住宅の地下駐車場で31歳の男性をナイフで脅し、その直前には自動車運転手の若い女性からタバコとTCLの定期を脅し取ったばかりだった。(プログレ紙7月20日)
-

2. テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

4. その他の情報

2011 年度バカロレア（大学入学資格試験）の結果が発表された。リヨン大学区では、2 万 2292 人が受験し、1 万 6960 人が筆記試験で合格。一般バカロレアは 78.4%、専門バカロレアは 70.5%の合格率となった。県別では、Ain 県が 77.8%、Rhône 県が 76.2%、Loire 県が 74.6%にのぼる。一般バカロレアの分野別合格率は、文系が 71.3%、理系が 82.2%、経済・社会系が 75.6%。(プログレ紙 7 月 6 日)

7 月 18 日より、リヨン市で夜 10 時から朝 6 時までのアルコール販売が禁止されることになった。これに違反した商店経営者には最高 750 ユーロの罰金が課せられる。夜間の飲酒が数多くの事故、暴力、近所迷惑の原因となっているためというのが理由。この市町村長アレテは 9 月 10 日まで続く。(プログレ紙 7 月 16 日)

昨日、リヨン病院は、ヘナ・タトゥー（落とせるタイプの入れ墨）に使われるブラックヘナが強いアレルギー反応を起こす危険があることについて注意を呼びかけた。

ブラックヘナには、強いアレルギー反応を起こすことが分かっているパラフェニレンジアミン（PPD）が含まれていることが多い。この成分を混合することで、より濃い黒が得られ、入れ墨も長続きする。ヘナ自身には毒性はない。欧州規制では、通常 PPD の使用は皮膚に適用される化粧品には禁止されており、染毛剤のみ、含有率が 6 パーセントを超えないという制限で許可されている。

リヨン病院によると、タトゥーに使われる PPD が原因でアレルギー反応が見られた場合、平均 9 日後に入れ墨のモチーフが描かれた部分に湿疹が発症する。症状が重く、入院しなければならないこともある。長期的には皮膚に一生消えない跡が残ったり、染毛剤、一部の医薬品、衣類用染料などを使用した場合にアレルギー反応を起こしたり（交差感受性反応）、美容師として働くことができないなどの問題が生じる。(プログレ紙 7 月 19 日)